



楠の葉新聞

紙面をリニューアルしました。読みやすい新聞を目指して頑張っていきます。今後ともよろしくお祈いします。

【先駆者の言葉の雫】

松下電器は人を作る会社です。あわせて電気製品を作っています。

松下幸之助／パナソニック

職場体験学習を考える

延岡市内の中学校では、2学期を中心に職場体験が行われます。本校も十一月に市内の事業所に協力いただき二日間の体験を行う予定です。この職場体験は平成十一年文部科学省の答申を受けて全国的に実施されるようになりまし。それ以前は、勤労体験や職業体験という呼び方で行われてきました。延岡市内でも平成に入ったころから職業体験という形で実施され始めたこと記憶しています。現在は、「職場体験」と名称が統一され、実施期間

も2日〜5日と幅広く選択されています。なぜ「職業体験」ではなく「職場体験」なのか。つまり職業を体験させることを主とするのではなく、職業の現場を体験させる学習ととらえることができる。現場を体験させるとはラーメンの作り方が上手になることが上位の目的ではないだろう。お店での仕事や体験を通してそこで働く人々からさまざまな学びを得ることが目的だと考えている。ではどのような学びなのか。そこに実施する学校独自の色が出てこなくてはいけない。生徒全体の課題を考えて課題を克服するために職場体験に臨む。つまり、学年集団はあいさつができない、返事ができない、コミュニケーション

とれない生徒が多い。という課題を克服するために、職場体験に臨む。または個人に課題を考えさせて自分の課題を克服するにはどのような思いや態度で職場体験に臨めばいいか考え計画を立てる。など様々なカタチの体験学習があつてよいだろう。考えなくてはいけないのはお店や事業所に丸投げ「行って来い」の活動になってしまうこと。このような考えのもとにここ最近の職場体験は行われている。岡富校区は、商店、事業所等が多い校区。今後本校の生徒もお世話になることがあるかもしれません。何卒将来の延岡を支えていく岡富の宝を鍛え育ててください。ちなみに職場体験は5日間が理想だそうです。延岡市内ではまだ5日間実施の中学校はありません。その先駆者に岡富中がなれるといいなと虎視眈々と狙っています。よろしくお祈いします。

さをり織りの思い出

「さをり織り」という織物をご存知でしょうか。以前勤めていた学校で特別支援学級の学習の一環としてさをり織りの授業が行われていました。クラスに顔を出す機会が多かった私は、社会の教員ということもあり歴史好きの男子生徒と仲良くしていました。卒業に当たり作品展が開かれ卒業作品を私にプレゼントしてくれるというので作品展に行きました。幅が60cm長さが2mほどの斬新な色合いのさをりでした。私へのプレゼントだと聞きつけた女性の方が私のところにきて譲ってほしい買い取ると言われました。お断りし続けましたが、最終的に20万円とおっしゃられました。果たしてさをりは……

現在も私の家に大切に保管してあります。少し色褪せてはいますが。さすがにいくらお金を出されても世界に一つしかない宝物を売るわけはありません。なぜそのままでその作品を欲しがられたのか。その方によると決して自分には出すことのできない色合いで今まで見た

ことがないとのこと。子どもの独創性には大人の経験値はかなわれないものだとつくづく思い知らされた出来事でした。これ以上色褪せないように大切に保管しておこうと思います。

キャリアモデル＝人生の先輩とイメージし

ていただければわかりやすいかと思ひます私

たち大人は子どもにとってのキャリアモデル

ということになります。モデルだなんて……

と思われかもしれませんが、良くも悪くも見

習すべき人生の先輩である必要があります。成